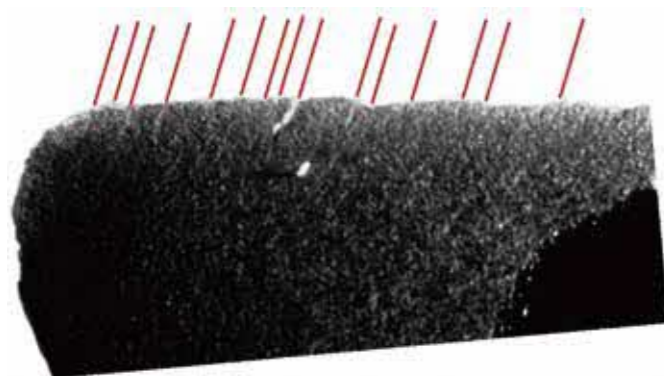


団原川遺跡 3区北壁土層堆積状況 (南から)

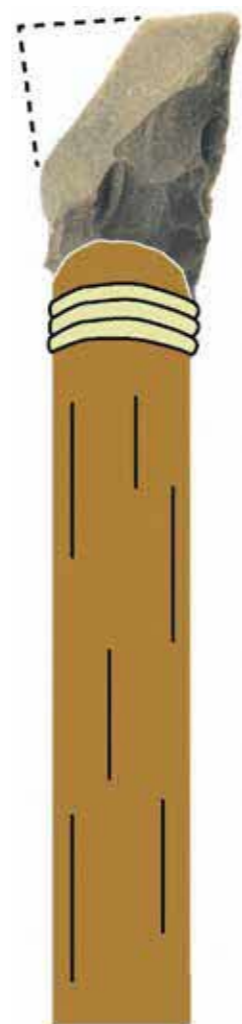


台形様石器 (裏面)

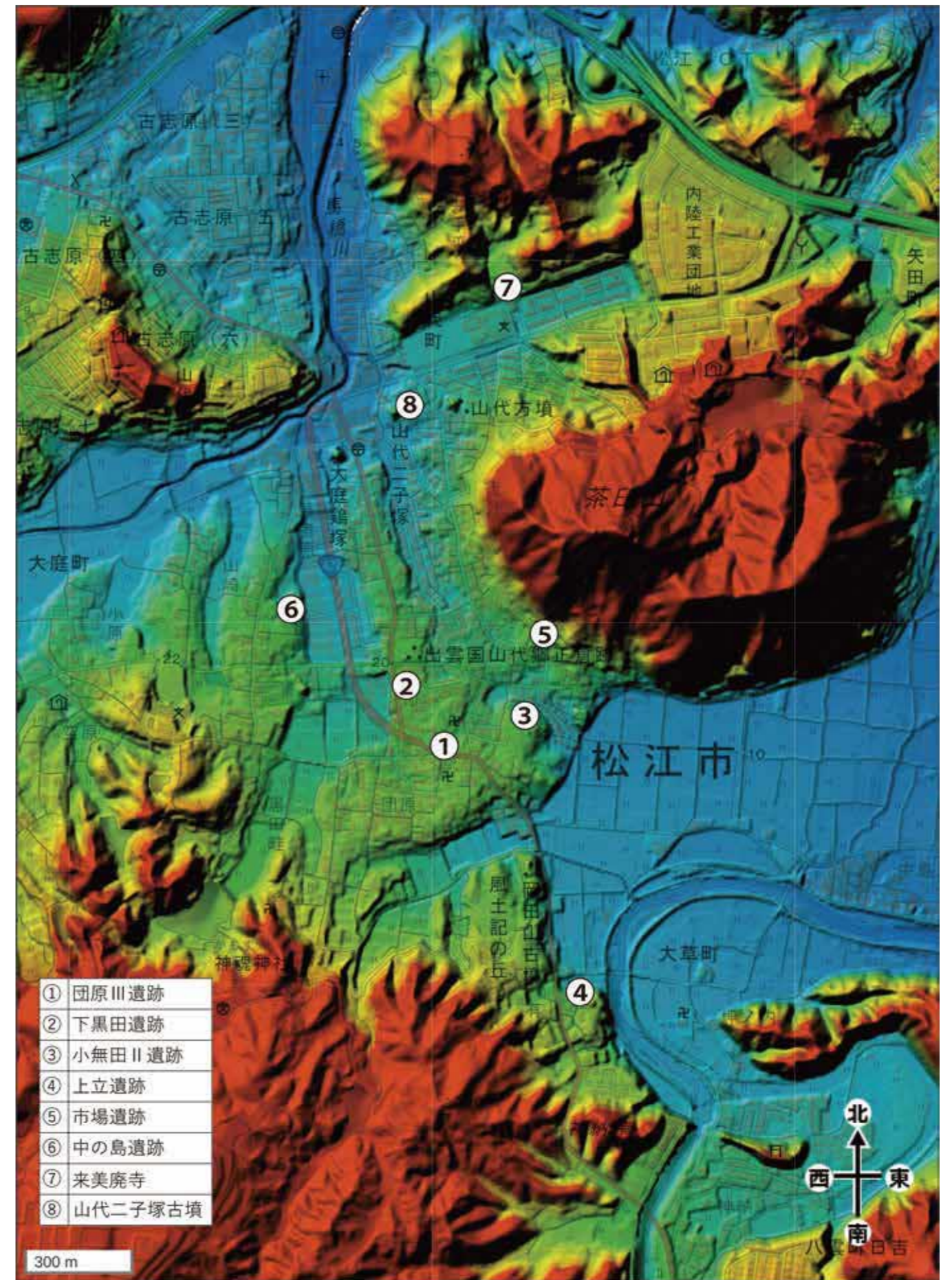
台形様石器 (表面)



台形様石器 (使用痕拡大写真)
※赤線は使用痕の方向



台形様石器 (復元図)



地理院タイルに遺跡情報を追記

団原川遺跡と周辺の旧石器時代の遺跡

令和5年8月11日(金)

だんばら 団原Ⅲ遺跡現地説明会資料

～旧石器時代の地層から狩猟で使われた石器が出土～

島根県埋蔵文化財調査センターは、島根県土木部道路建設課から委託を受けて国道432号大庭バイパス建設予定地内の埋蔵文化財発掘調査をおこなってきました。このたびは、5月から発掘調査している団原Ⅲ遺跡3区の調査成果を公開します。

1 遺跡の概要

団原Ⅲ遺跡は松江市大庭町に所在し、茶臼山の南西に広がる台地上(標高23m)に位置しています。この台地上では旧石器時代以降の遺跡が確認されており、周辺には山代二子塚古墳や山代郷正倉跡など古墳時代～古代の重要遺跡が存在します。

団原Ⅲ遺跡は昨年度から発掘調査をしており、1・2区では近世以降の鍛冶炉跡や半地下式のかまど跡などが見つかりました。

2 今回の調査成果

縄文時代の土器や黒曜石の石器素材、古墳時代～古代の土器、瓦片が見つかりましたが、とりわけ旧石器時代の石器が1点出土したことは注目されます。

今回発見された旧石器の特徴は以下のとおりです。

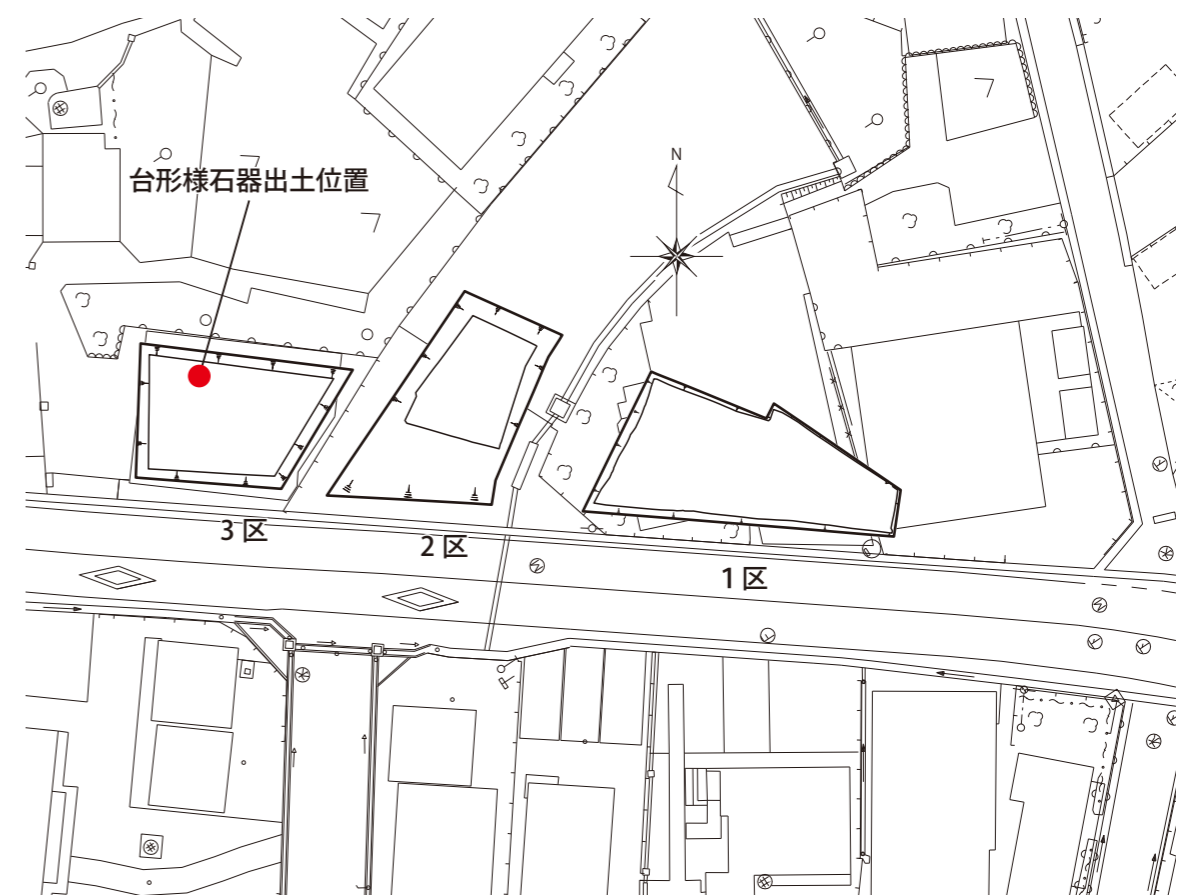
- ① 旧石器時代の地層である黄褐色土から出土しました。県内では旧石器時代の地層にともなって石器が出土することは数少なく、貴重な事例になります。
- ② この石器は黒曜石製で、基部から刃部に向けて幅が広くなり、平らな刃を持つことから台形様石器と呼ばれます。長さ3.76cm、現存幅1.9cm、厚さ0.89cm、重量は4.85gあります。およそ3万年前のものと考えられます。
- ③ 刃部には縦方向の使用痕が残っていることから、狩猟用の槍先として使用された可能性があります。

3 調査の意義

島根県内で旧石器時代の遺跡は68カ所見つかっていますが、このうち8カ所が本遺跡のある台地周辺にまとまって分布しています。旧石器人は谷を見下ろす台地上を拠点にして、谷に集まるシカなどの獣を狩猟して生活していたと考えられます。今回の発見は、こうした旧石器人の活動の様子を具体的に示す貴重な資料といえます。



団原Ⅲ遺跡位置図 (S=1:25,000)



団原Ⅲ遺跡調査区配置図 (S=1:5000)